

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2024/10/30

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	33.68	-0.11
JPY/THB	0.2196	-0.0008
USD/JPY	153.36	0.07
EUR/THB	36.43	-0.10
EUR/USD	1.0819	0.0007
USD/CNH	7.143	-0.002
SGD/THB	25.44	-0.12
AUD/THB	22.09	-0.15
USD/INR	84.08	0.00
USD Index	104.32	0.00

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	2.218	0.013
10Y (THB)	2.439	0.020
5Y (USD)	4.081	-0.036
10Y (USD)	4.254	-0.028

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	2,768.4	25.5
WTI (Oil)	67.21	-0.17
Copper	9,530.5	-11.0

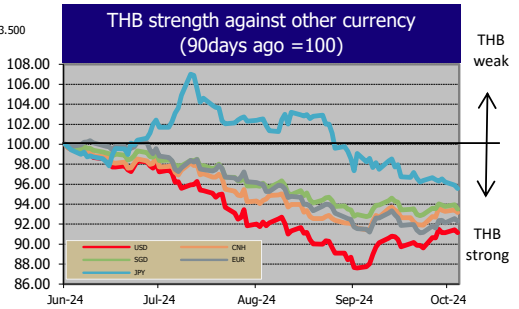
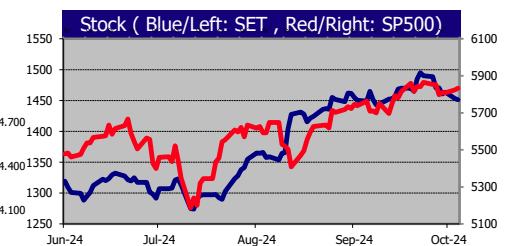
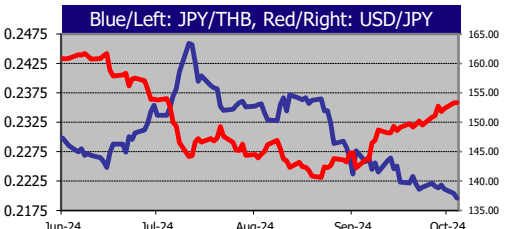
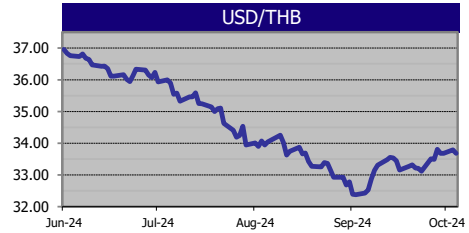
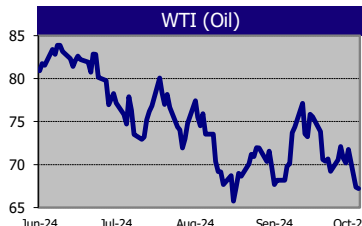
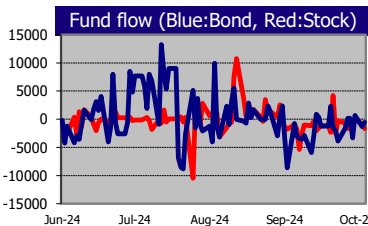
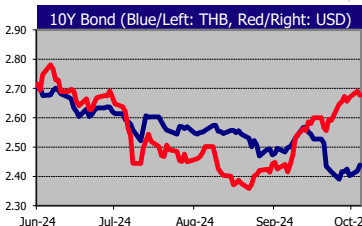
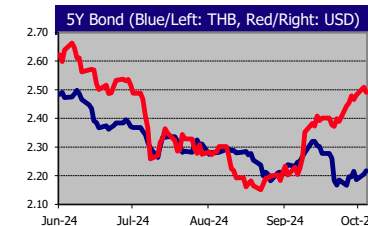
Stock

	Close	CHANGE
SET (TH)	1,451.16	-1.87
NIKKEI (JP)	38,903.68	298.15
DOW (US)	42,233.05	-154.52
S&P500 (US)	5,832.92	9.40
SHCOMP (CN)	3,286.41	-35.79
DAX(GER)	19,478.07	-53.55

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	(1,702)	-908.4
Bond net flow	(533)	814.4

*compared with previous day
(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

昨日のドルパーツは下落。33パーツ台後半の水準で取引を開始すると、同水準で方向感に欠ける推移が継続。バンコク時間午後、「タイ中銀と同国政府が、2025年の物価目標について、現行水準を維持することで合意」との報道が伝わった場面では上下する場面が見られたものの、結局水準は変わらず。そのまま海外時間に入り、米10月コンファレンスボード消費者信頼感指数は予想を上回った一方で、同時刻に発表された米9月JOLT求人数は予想を下回ったといった強弱まちまちな指標結果を受けて、ドルパーツは上下。その後、しばらく33パーツ台後半付近で推移が続いていたものの、終盤にかけて米金利が低下するのを横目にじりじりと下落。結局33.68レベルでクローズを迎えた。

●ドル円その他

昨日のドル円はほぼ変わらず。153円台前半の水準で取引を開始すると、衆議院選挙の結果を受けた円売りが一服する中で、ドル円は一時152円台後半まで下落。ただ、バンコク時間午後に入ると、米金利が上昇する動きを横目にドル円も上昇に転じ、海外時間には153円台後半を付けた。ただ、その後は強弱入り混じる米経済指標や米金利が下落に転じる動きを受けて、終盤にかけて上値の重い推移となり、結局153.36レベルで引けた。

Bangkok Dealer's Eye

週初に衆議院選挙を終え、今日から市場の注目は今週もう一つのイベントである日銀金融政策決定会合に移る。衆院選での与党大敗後、為替市場ではやや円安が進んだ。その背景は、今後の政局不安を素直に反映した部分もあるだろうが、今回の選挙結果を受け、日銀が追加利上げに対してより慎重姿勢にならざるを得なくなることを見込んだ市場の思惑も少なからず影響したものと考ええる。今回の日銀金融政策決定会合では現状維持がコンセンサスとなっているが、総裁の記者会見や新たな展望レポートでハト派な見解が確認されるようだと円売りに拍車がかかる可能性もあるので留意したい。植田総裁は、前回9月の会合以降、繰り返し「(利上げ判断には)時間的な余裕はある」というフレーズを使うようになった。このフレーズに修正ないまま利上げが決定されることは考えにくい。今後の記者会見では、まだ余裕があるかないかを確認していくことがポイントになるはずだ。余裕の有無はそのときの円安進行度合いとおそらく無関係ではないだろう。日本要因では総じて円安にバイアスがかかりそうな地合いの中で、ここからは米国要因にも注意が必要となる。本日はADP雇用統計と3Q GDP速報、明日はコアPCE、そして金曜は雇用統計と米国では重要指標が続くため、結果が市場予想と乖離した際にドル円が値幅を伴った反応となる可能性に警戒しておきたい。(吉田)

The report is prepared for the sole purpose of information only. It is not an invitation to trade. The writer's view expressed herein would not be substituted for the exercise of rational judgement by the recipients.